新冠町地域公共交通活性化協議会

平成２１年２月１６日設置
平成２２年３月１８日連携計画策定

概　要

新冠町は、海岸沿いに中心市街地を形成し、内陸に向かって長く延びる２つの沢に集落・民家が点在しており、内陸部は道南バス路線により地域住民の足を確保しているが、利用者が固定化していること、さらに利用者数が極めて少ないため、運行赤字に対する財政負担が問題となっている。一方、行政目的としてスクールバス６台がほぼ町全域を網羅する形で運行していることからデマンド型交通の導入、スクールバスの活用、健康推進バスの活用、JR・路線バスとの乗り継ぎ機能の強化等を行うことにより、効率的で接続可能な地域交通体系の構築を図る。

○デマンド型交通の導入（22年度～）

・西新冠地区、日高町厚賀地区を運行している路線バスは利用者が少ないことから利便性の向上を図るため、路線バス日高沿岸線やJR日高本線との接続を検討し、デマンド型交通の実証運行を行う。

○スクールバスの活用（22年度～）

・静内泉線の路線バスは利用者が少ないことからスクールバス等を活用する運行方式の導入を検討する。

・町内で運行している６路線のスクールバスにおいて空き座席を有効活用するため、一般住民との混乗化を検討する。

○健康推進バスの活用（23年度～）

・路線バス見直しによるスクールバスの導入において、活用できない早朝、夕方の時間帯は健康推進バスを活用した補完運行を行う。

○JR・路線バスとの乗り継ぎ機能の強化（22年度～）

・デマンド型交通の導入を行うことにより道南バスの日高沿岸線、JRとの乗継ぎの利便性の向上を図るため、ダイヤ設定やバス停の移設等の検討を行う。